生活発表会に向けて

令和６年11月18日（月）

＊記録の視点＊幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿

☑健康な心と体　☑自立心　☑協同性　☑道徳性・規範意識の芽生え
□社会生活との関わり　☑思考力の芽生え　□自然との関わり・生命尊重
□数量や図形、標識や文字などへ関心・感覚　☑言葉による伝え合い　☑豊かな感性と表現

★ひまわり組…ピンク、すみれ組…黄色、もも組…水色の吹き出しです。
子どもたちの興味・関心に沿って、日々の生活で楽しんでいることを取り入れて、
３クラスともに、劇・表現・歌＆楽器の３つの演目を発表します。

今年はいろんな楽器が使えるひまわり組。早速ピアニカに挑戦。担任が音階を色で表示した楽譜を準備しておくと、好きな曲を選んですすんで練習していました。

担任が楽器の音色の違い、叩き方、扱い方などを説明中。本番は誰がどの楽器を演奏するのかな？お楽しみに。

ひまわり組が楽器の練習を始めると、こっそりのぞきに行って興味津々だったすみれ組。好きな楽器を選び、曲に合わせて自由に鳴らしてみました。

何回か楽しむうちに、リズムに合わせて楽器を鳴らせるようになってきました。担任が拍を合わせやすい曲を選ぶと、子どもたちなりに合わせて演奏できるようになってきました。

もも組にとっては初めての発表会。自分で作った道具や衣装を発表に取り入れ、みんなで表現する楽しさが味わえるように関わっています。

他のクラスが遊戯室でステージ発表の練習をしていると、「〇〇組さんなにしてるの？」「見てみたい！」と興味津々です。お互いの取り組みを認め合って、刺激にしていければと思います。

繰り返しのフレーズが出てくる絵本・紙芝居を読んだり、思わず体を動かしたくなるような曲を流したりして、興味を探りながら演目に取り入れれました。

演目の話し合い中。教師が仲立ちしなくても、「こんなふうにしたらどう？」と意見を出し合っていました。

演目が決まったので、次は発表の仕方を考えることに。担任は子どもたちのイメージを大切に汲み取り、主体的に活動がふくらむように援助しています。

どのクラスも発表の内容が決まり、遊戯室のステージでの練習が本格的になってきました。一人ひとりの表現を認めて、自信をもってステージに立てるように励ましながら練習を進めています。また、他のクラスの発表を見合う時間を作ることで、自分の発表の刺激にしたり、人前に立つという経験を重ねたりできるように関わっています。子どもたちが生き生きと、楽しんで発表できるように、引き続き援助していきたいと思います。